

令和7年度生徒指導サポート実践校「特別活動の取組事例」

学校名	大竹市立大竹中学校	対象となる主な学年	全学年
取組事例名	「ハートプロジェクト」		

◆ 生徒の実態及び取組を通して育てたい生徒像

生徒の実態	取組を通して育てたい生徒像
大竹中学校は「生命尊重の日」を設けて、自分の命、仲間の命の大切さを考えさせている。しかし、一部の生徒は、人を傷つける言動を行ってしまうことがある。生徒アンケートで「命の大切さを学んでいる」と答えた生徒の割合は、前期は94.2%だった。	人間関係形成能力を育成し、一人一人が唯一絶対の存在として自分を、また、お互いを大切に育てる。



◆ 取組の具体的内容

取組を実施する意図及びねらい

- ・「命の大切さ」を再確認させる
- ・自分の命だけでなく、すべての命を大切にできるようにさせる

取組の流れ・創意工夫・生徒の変容等

〈事前学習〉

- ・各学級の道徳で学んだことをアンケートを取るなどして発表ができるようにまとめる。
- テーマ
- 3-1「尊厳死について」、3-2「世界で一番強い国」、3-3「臓器移植を考える」、
1-1「地震から身を守る」、1-2「平和のために大切なこと、必要なこと」、
1-3「そのイジリ、本当に大丈夫？」2-1「ずっとずっと大好きだよ」
2-2「2月末実施予定」2-3「3月末実施予定」



3年3組の発表の様子

〈ハートプロジェクト〉

- ・月に1回1つの学級が、1校時前の10分間で自分たちでまとめた命の大切さに関する内容や自分たちの思いを全学級に向けて発表する。

3-3の発表内容（一部）

「命は大切にしなければいけない」そんな当たり前のことは言わなくてもわかってると、中学生の皆さんは思いますよね。でも、なぜ大切にしないといけないのでしょうか？両親からもらった命だから？世界には病気や戦争で生きてても生きられない人もいるから？命について考えるためには、まず死（脳死等）について考えてみるのも一つの方法だと思います。

- ・発表後に各学級で感想を書き、発表した学級に渡す。



1年1組の発表の様子

〈事後学習〉

- ・各学級からもらった感想を学級内で共有する。
- ・また発表が終わった原稿の内容等を廊下に掲示して、各学級のハートプロジェクトの話を思い返せるようにしている。



◆ 成果（○）と課題及び今後に向けて（●）

- 生徒アンケートで「命の大切さを学んでいる」と答えた生徒の割合は、後期は98.1%に上がった。
- 「命の大切さ」について、多くの生徒は学んでいるが、学校生活では一部の生徒が繰り返し他人の悪口を言ってトラブルになることがある。